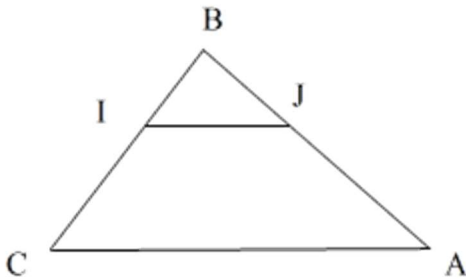


最初の水面の高さが $5\frac{1}{3}$ cm だから、 $AG=\frac{8}{3}$ cm だから、 $AB:AG=3:1$ より、
 三角形 AGH : 三角形 ABC = $1 \times 1 : 3 \times 3 = 1:9$

したがって面 ABC を底面としたときの高さは $15 \div 9 \times (9-1) = 13\frac{1}{3}$ cm

(答え) $13\frac{1}{3}$ cm

(2)



B から AC に降ろした垂線の長さは $CB \times \frac{4}{5} = 4.8$ cm

三角形 IBJ と三角形 ABC = $1:9$ より高さの比は $1:3$ から水面の高さはその $\frac{2}{3}$
 $4.8 \times \frac{2}{3} = 3.2$ cm

(答え) 3.2cm